

## 総勢340名の参加！！熊本県高森町公開授業（第2回）

令和5年10月20日（金）に熊本県高森町公開授業（第2回）が開催され、現地参加者約270名、全体会オンライン参加者が約70名、総勢約340名の参加がありました。

本年度の高森町3校共通の研究主題は「自立した学習者の育成」であり、サブテーマは各学校の特色を生かして設定しています。

午前中は高森東学園義務教育学校にて異学年合同授業を含めた全学級で授業が公開されました。サブテーマは「小中一貫教育における教室の枠をこえた学びの展開を通して」です。1年～8年生では、義務教育学校の特色を生かした異学年合同授業が展開されており、編成された課題別グループで主体的に学ぶ児童生徒の姿が見られました。また、9年生では、高森中学校や外部専門家とオンラインで接続し、探求課題の異なるグループ毎に探究的な学びが展開されていました。

午後は高森中央小学校にて特別支援学級を含む全学級で授業が公開されました。サブテーマは「児童を学びの主体に据えた授業デザインの構築」です。公開授業では、学年の発達段階に応じた学習ガイドによる学びが展開されており、児童が主体的に学び方を選択し、協働的な学びを促すための教師の工夫が見られました。6年生の授業は特に注目度が高く、1人1台端末とクラウドサービスを利用して学習者主体で探究的な学びが展開されていました。

中央小学校の授業公開後、引き続き体育館にて全体会が行われました。これまで継続して本町の教育に対し指導・助言いただいている3名の有識者（新地辰朗氏、堀田龍也氏、山本朋弘氏）によるトークセッションでは、高森町の研究の方向性及び今回の授業に対する価値づけをしていただいたうえで、これからの高森町の教育に期待することとして、「更なる探究的な学びの充実」「自己調整能力の育成に関する研究」「学習履歴（スタディログ）の活用に関する研究」などを提起いただきました。

公開授業終了後、参加者のアンケートを集計した結果、公開授業が参考になったと全員が回答。「低学年とは思えないICT活用スキル」「子ども達が自己決定をし、学習を進める点が参考になった」「自立した学習者ということで、子ども主体の学びが実現されていた。ガイド、学び方の選択、交流活動など教師が当たり前に行っていたことを子どもがすることの大切さがわかった。」など、本公開授業の良さがうかがえるコメントを多数いただきました。

令和6年4月、高森町教育委員会では教育DXの視点から全国に広く発信することを目的として、「高森町新教育プラン」に基づく10年超にわたる取組の成果をまとめた書籍を出版します。発刊の際には、多くの教育関係者にお読みいただけたらと思っています。



高森東学園義務教育学校  
5～8年 高森ふるさと学の様子



高森中央小学校6年 社会科の様子



全体会 トークセッションの様子